

福井工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	日本語表現演習
科目基礎情報						
科目番号	0174		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気電子工学科		対象学年	5		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	プリント配布					
担当教員	市村 葉子					
到達目標						
(1) 客観的かつ適切な根拠に基づいて論を展開し、適切な結論につなげることができる。 (2) 聞き手を意識し、適切な話し方でわかりやすく論が展開できる。 (3) 自分の話し方を客観視して、適当な評価を行い改善できる。 (4) 論点を深めるために、相手の話を傾聴し、建設的に論が展開できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
論理構成	客観的かつ適切な根拠に基づいて論を展開し、適切な結論につなげることができる。		客観的かつ適切な根拠に基づいて論を展開し、ある程度適切な結論につなげることができる。		主観的に論を展開し、結論に説得力がない。	
聞き手を意識した文章作成	聞き手を意識し、適切な話し方でわかりやすく論が展開できる。		聞き手を意識し、ある程度適切な話し方でわかりやすく論が展開できる。		聞き手を意識した話し方ができない。	
自己評価	自分の話し方を客観視して、適当な評価を行い改善できる。		自分の話し方を客観視して、適当な評価を行いある程度改善できる。		自分の話し方について適切に評価できず、改善できない。	
傾聴	相手の話を傾聴し、相手の意見を踏まえて建設的な議論が展開できる。		相手の話を傾聴し、それをある程度踏まえて建設的な議論が展開できる。		相手の話を傾聴せず、それを踏まえた建設的な議論ができない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 RC2						
教育方法等						
概要	他者と良好な人間関係を構築しながら、自分の意見を説得的にわかりやすく伝えられる能力を育成する。また、自己評価および他者評価を通して自分の話し方を内省し、改善する力を養う。 論点を深めるために、相手の話を傾聴する技術を身につける。					
授業の進め方・方法	発表、ディスカッション、プレゼンテーションの三つの手法を用いて授業を行う。いずれの場合も、はじめに話す内容を整理し、メモを作成する。その中には自分の主張を説得的なものにするために必要な情報を収集し、取り入れることも求められる。最後に、自身及びクラスメイトの言語使用や論の組み立て方を振り返り、改善させる。					
注意点	1. 話すことが主体の授業であることを理解したうえで授業に臨むこと。 2. 説得的に論を展開する必要があるため、客観的根拠や背景知識を事前に準備する必要がある。従って主観的な根拠を基に主張を展開したり、明確な主張を持たない場合は必然的に評価が下がるので注意すること。 3. 授業外に情報を収集するなどの準備が求められる。 4. 発表、ディスカッションの回に授業を休むと、その回の評価点が0になるので注意すること。グループ活動時の欠席も減点対象となる。 5. 5回以上欠席(2回遅刻につき1回欠席とみなす)すると単位が認定されない。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション／本授業における発表、討論、ディベート、プレゼンテーションの違いについて	授業の進め方、評価の仕方、諸注意などが理解できる。 四つの活動の違いと目的が理解できる。		
		2週	発表（1）／聞きやすい話し方	発表課題についてグループで相談し、内容を考える。		
		3週	発表（2）／人を動かす伝え方	ペアでスクリプトを作成する。		
		4週	発表（3）	聞き手にわかりやすく話すことを意識して発表する		
		5週	具体化と抽象化	具体と抽象の区別を確認し、両方の考え方を行き来する手法を学ぶ。		
		6週	アナロジー的思考／新商品、イベントを企画する	アナロジー的思考を生かし、新商品を企画、発表する。		
		7週	ディスカッション（1）	教師の講義および新聞記事を読み、自分の意見をまとめる。		
		8週	ディスカッション（2）	与えられたテーマについてグループで意見交換し、グループの意見をまとめる。		
	4thQ	9週	ディスカッション（3）、ディベート（1）	（1）でまとめた意見を他のクラスメイトが納得するように発表する。／ディベートについて確認し、ディベートのテーマを決定する。		
		10週	ディベート（2）	与えられたテーマについてグループで意見交換し、賛成、反対の立場の意見と根拠をまとめる。		
		11週	ディベート（3）	グループでまとめた資料をもとに、他のグループとディベートを行う。		
		12週	ディベート（4）	グループでまとめた資料をもとに、他のグループとディベートを行う。		
		13週	プレゼンテーション（1）／わかりやすいプレゼンテーション	プレゼンテーションについて説明できる。与えられたテーマについて、必要な資料を収集し、メモを作る。		

		14週	プレゼンテーション（２）	プレゼンテーションを行うためのスライドを作成する。
		15週	プレゼンテーション（３）	作成したスクリプト及びPPTを用いて聞き手を意識したプレゼンテーションができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	後4
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	後4
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	後2,後12,後14,後15
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	後2,後3,後12,後14,後15
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	後14
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	後4,後6,後12,後14
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	後1,後4,後6,後12,後14,後16
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	後2,後4,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後14
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	後1,後3,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後13
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	後1,後4,後7,後8,後9,後10,後11,後12
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	後1,後4,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	後1,後4,後7,後8,後9,後10,後11

評価割合

	教師評価	自己評価	他者評価	課題	合計
総合評価割合	60	20	10	10	100
基礎的能力	60	20	10	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0